

加熱ユニット BSU-HU

平面ガラスヒータを上面と下面に配置して、両ヒータをプログラムにされた温度プロファイルに従って温度制御しながら、サンプルの熱処理を行える小型の加熱ユニットです。ガラスヒータは薄い石英ガラス製ですので、X線透視装置内に組み込んで、温度変化の状態とX線透視することが出来ます。また、ガラスヒータは可視光に対しても透明ですので可視光カメラでの撮影も可能です。

概要

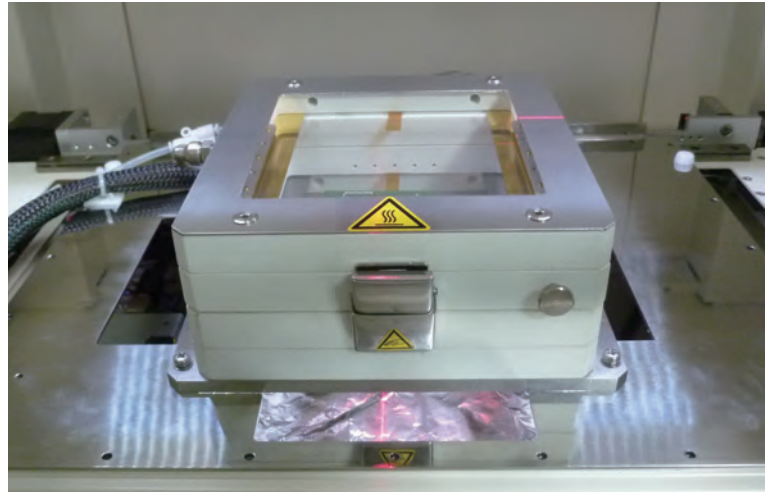
- 常温から最高温度300℃までの任意の温度と到達時間を設定することが出来ます。サンプルは下部ガラスヒータの上に設置します。上下の温度は、ヒータに設置された熱電対によりモニタできます。

適用用途

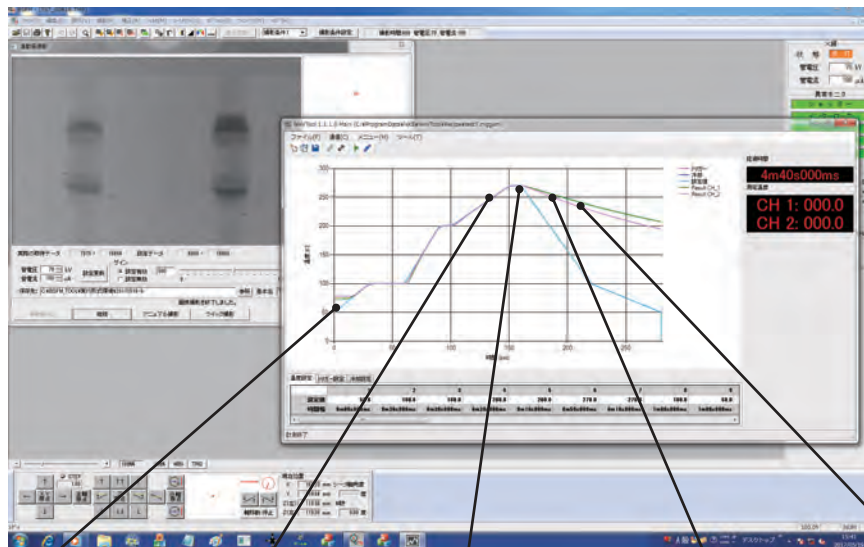
- 新規基板の半田リフロー温度条件の設定と確認。
- サーモスタット等の温度による駆動体の動作確認。
- 部品・材料の耐熱性能等の観察

チップ抵抗半田付け画像

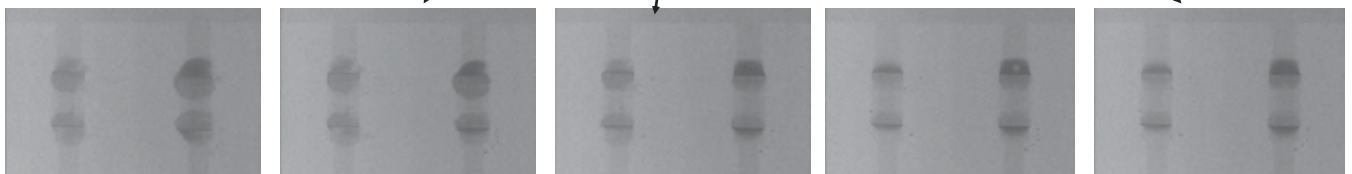
- サンプル基板のパターンに半田を手で塗布し、ピンセットでチップ抵抗を載せたサンプルを下部ヒータの上に置いて、溶着試験を行った。半田の溶融とボイドの形成と消滅の過程を撮影出来た。



FLEX-M863内に組み込まれた加熱ユニット



動作画面



加熱開始

半田溶け出し

半田溶融

ボイド発生

ボイド消去

【お問い合わせ先】

株式会社ビームセンス
BEAMSENSE CO., LTD.

〒564-0041 大阪府吹田市泉町2-19-16

TEL/FAX: 06-6384-9563 URL: <http://beamsense.co.jp/>

2017.06.05